

第62回岡山・香川連合海区  
漁業調整委員会議事録

令和5年2月22日（水）

第62回 岡山・香川連合海区漁業調整委員会議事録

1 開催日時 令和5年2月22日(水)午後2時00分から午後2時37分

2 開催場所 岡山県岡山市北区下石井2丁目6番41号  
ピュアリティまきび

3 委員総数及び出席委員数

委員総数 20名

出席委員数 18名

4 出席委員

【岡山海区】

会長 井本 瀧雄  
委員 柴田 悟  
委員 豊田 安彦  
委員 佐上 一彦  
委員 松下 勘次  
委員 小谷 基  
委員 平田 晋也  
委員 三宅 秀次郎  
委員 栗田 睦

【香川海区】

会長 北尾 登史郎  
委員 橋本 時雄  
委員 北野 廣治  
委員 三木 正幸  
委員 小見山秀基  
委員 森 勝喜  
委員 志摩 重美  
委員 嶋野 勝路  
委員 筒井 由果

5 関係出席者

【岡山海区】

農林水産部水産課

課長 石飛 博敏  
総括副参事 濱崎 正明  
(兼事務局次長)

海区委員会事務局

技師 津行 篤士  
技師 中根 康介  
局長 清水 正三  
書記 弘奥 正憲

【香川海区】

農政水産部水産課

課長 柏山 浩史

農政水産部水産課漁業調整室

室長 補佐 大山 憲一  
(兼事務局次長)

副 主 幹 龍満 直起  
主任技師 秦 正樹

海区委員会事務局

局 長 植田 豊  
(兼漁業調整室長)  
書 記 湯谷 篤

## 6 傍聴者

なし

## 7 付議事項及びその結果

第1号議案 令和5年度における各種漁業の入会調整について  
(結果) 原案どおり決定した。

## 8 議事の概要

### 清水局長 (岡山海区)

皆様お揃いになりましたので、ただ今から第62回岡山・香川連合海区漁業調整委員会を開催させていただきます。

私は岡山海区漁業調整委員会事務局の清水と申します。議長が選出されるまでの間、進行役を務めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

当連合海区漁業調整委員会の委員定数は、岡山海区及び香川海区それぞれ各10名の計20名となっており、本日は18名の出席がございますので、事務規程第6条第1項の規定により、本委員会の会議が成立しておりますことを御報告申し上げます。

それでは、開会にあたりまして両海区の会長より御挨拶をいただきたいと思っております。

まず、岡山海区の井本会長、御挨拶をお願いします。

### 井本会長 (岡山海区)

岡山海区の井本でございます。今年は、岡山県が当番県でございますので、開会にあたり一言御挨拶申し上げます。

本日は、両海区の委員及び関係者の皆様には、お忙しい中、御出席いただきありがとうございます。特に香川県の皆様には、遠路岡山までお越しいただき、ありがとうございます。

新型コロナウイルスの影響で去年はウェブでの開催となりましたが、今年は対面で開催することができ、委員の皆様にお会いできたことをうれしく思っています。

さて、岡山・香川の入漁にあたりましては、これまでもさまざまな問題がありましたが、委員の皆様方の御尽力により円満に解決されてまいりました。

隣接する両県の漁業者が、お互いに安心して操業でき、また、両県の漁業が発展していきますよう、今後とも、よろしく願いいたします。

本日は、令和5年度の入会調整について協議していただきますが、スムーズに議事が進みますよう御協力をお願い申し上げまして、簡単ではございますが、開会の挨拶とさせていただきます。

#### **清水局長（岡山海区）**

ありがとうございました。続きまして、香川海区の北尾会長、御挨拶をよろしく願いいたします。

#### **北尾会長（香川海区）**

香川海区の北尾と申します。本日はよろしく願いいたします。本日は、岡山海区の井本会長をはじめ、委員の皆様、また岡山県水産課石飛課長様、事務局の皆様、お招きいただきましてありがとうございます。

また、会場設営等非常に御尽力いただきましたこと、改めてお礼を申し上げます。2月22日は竹島の日ということで、1952年に島根県が竹島を自分の領土だと告示した日だそうでございます。しかしながら現在は、韓国が実効支配をしており、領土問題でもめております。2月24日は、ロシアがウクライナに侵攻して丸1年、いまだに紛争が続いております。国同士お互いに領土問題で争っています。我々岡山・香川両県は互いに海で接していますが、この瀬戸内海の資源をお互いに知恵を出し合って上手に活用できればよいと祈っております。

本日は、議事が円満に進むこと祈念いたしまして、簡単ではございますが挨拶に代えさせていただきます。本日はどうぞよろしく願いいたします。

#### **清水局長（岡山海区）**

ありがとうございました。続きまして、開催県であります岡山県農林水産部水産課の石飛課長から御挨拶を申し上げます。

#### **石飛課長（岡山県水産課）**

岡山県水産課長の石飛でございます。

岡山・香川連合海区漁業調整委員会の開会にあたりまして開催県を代表いたしまして、一言御挨拶を申し上げます。

皆様方には、平素から、漁業調整はもとより水産業の振興に御尽力を賜り厚くお礼を申し上げます。香川海区の委員の皆様並びに香川県の皆様方におかれましては、大変お忙しい中、岡山までお越しいただき誠にありがとうございます。本日は2年ぶりに対面での開催が実現し、皆様方と笑顔でお会いできたことを大変嬉しく思っているところです。今さら申すまでもありませんが、漁業就業者数の減少や水産物の消費低迷に加えまして、最近では栄養塩濃度の低下や海水温の上昇など、漁場環境が大きく変化しておりまして、漁業を取り巻く環境は大変厳しいものがございます。

特に、今漁期カキにつきましては、身入り不良により生産量が伸び悩んでおります。ノリについても毎年のように、色落ちに悩まされるなど、厳しい状況が続いております。その中、香川県の皆様方とは資源管理、栽培漁業はじめ、様々な分野で力を合わせて成果を上げてきた実績もございますので、これまで以上に連携を図りながら水産物の消費拡大などにも取り組んで参りたいと思っておりますので、引き続き御協力の程よろしくお願いいたします。

結びに当たり本日、第62回目の連合委員会を迎えることができましたのもこれまでの諸先輩方の御苦勞の積み重ねによるものだと感じているところでございます。本日の入漁協定が円満に整い、両県の漁業が末永く発展するよう心から祈念いたしまして、簡単ではございますが、挨拶とさせていただきます。本日はよろしくお願いいたします。

#### **清水局長（岡山海区）**

続きまして、香川県農政水産部水産課の柏山課長様から御挨拶をお願いいたします。

#### **柏山課長（香川県水産課）**

ただ今、御紹介いただきました柏山でございます。岡山・香川第62回連合海区漁業調整委員会の開催にあたりまして、訪問県を代表いたしまして一言御挨拶を申し上げます。両県の海区委員の皆様方におかれましては日頃より漁業調整を始め、水産業振興に御協力頂きまして、心からお礼を申し上げます。

また、岡山海区の皆様方、岡山県の皆様方には、新型コロナウイルス感染症の感染状況が不透明な中、本日のような会議を設定していただきましてありがとうございます。岡山・香川連合海区漁業調整委員会は、今回で62回目ということで、半世紀を超えて、両県漁業者の操業機会の確保、入会海域における円満な操業について先人たちが大変御苦勞しながら取り組んでこられ、今日に至っております。深く敬意を示すものです。現在の水産業を取り巻く環境は、香川県では昨年養殖ハマチの種苗不足で、生産が大幅に減少しました。ノリにつきましても、栄養塩不足での色落ち、漁船漁業につきましてもいろんな魚種の資源が減少している状況にあります。漁業者の減少、軽油等コストの高止まり等で漁業経営が大変厳しい状況と認識しております。県といたしましても皆様の御意見を伺いながら、資源管理、ナルトビエイの影響、栄養塩管理計画等に取り組んでいきたいと考えております。両県海区委員の皆様方には御協力、御支援をお願いしたいと思っております。

結びになりますが、本日の令和5年度の入会調整が円満に整いますとともに、両県の漁業が益々発展することを祈念いたしまして、簡単ではございますが、挨拶とさせていただきます。本日はよろしくお願いいたします。

#### **清水局長（岡山海区）**

次に、各県事務局から御出席委員の皆様を紹介させていただきます。なお、資料の1ページに連合海区委員の名簿を添付しております。

まず、私の方から岡山海区の委員を御紹介させていただきます。

先ほど御挨拶のありました井本委員でございます。続きまして、会長の席に近い順から柴田委員、豊田委員、佐上委員、松下委員、小谷委員、平田委員、三宅委員、最後に栗田委員でございます。

#### **清水局長（岡山海区）**

続きまして、香川海区事務局の植田局長さんから香川海区の委員の御紹介をお願いいたします。

#### **植田局長（香川海区）**

香川海区事務局の植田です。よろしく申し上げます。香川海区委員の紹介をさせていただきます。まず、北尾委員でございます。次に橋本委員、北野委員、三木委員、小見山委員、森委員、志摩委員、嶋野委員、最後に筒井委員でございます。

#### **清水局長（岡山海区）**

ありがとうございました。なお、事務局及び水産課職員の出席者につきましては、資料の2ページに名簿を付けておりますので、御覧いただければと思います。

それから報告でございますが本日、傍聴者の出席はございません。

続きまして、当連合委員会の会長でございますが、第39回連合委員会の取り決めによりまして、開催海区の会長が務めることになっております。本日の連合委員会の会長は岡山海区の井本会長、会長代理は香川海区の北尾会長が務めていただくこととなりますので、よろしく申し上げます。

次に、議長の選出でございますが、慣例に従いまして連合海区会長が務めることになっておりますので、井本会長、以後の議事進行についてよろしく申し上げます。

#### **井本議長（岡山海区）**

これより議長を務めさせていただきます。委員の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

議事に入ります前に、私の方から本日の議事録の署名委員を指名させていただきます。岡山海区の豊田委員さん、香川海区の三木委員さん、よろしくお願いいたします。

それでは、これより議事に入ります。第1号議案の「令和5年度における各種漁業の入会調整について」を上程いたします。まず、岡山海区から説明をお願いします。

#### **弘奥主幹（岡山海区）**

岡山海区事務局の弘奥と申します。どうぞよろしくお願いいたします。資料の3ページをお開き下さい。令和5年度岡山・香川連合海区入漁協定表案のうち、岡山海区から香川海区への入漁内訳でございます。表の左の方から、地区名、漁業種類、統数、組合別内訳、操業期間、操業区域、令和4年度の許可数及び備考となっております。上から順に漁業種類、統数を説明させていただきます。

まず、東部地区、玉野市以東の関係組合でございます。小型機船底びき網、胸上19統、日生町他8組合で241統、たまの12統。さわら流しさし網、たまの30統、胸上2統、日生町他3組合で72統、牛窓町、朝日15統。まながつお流しさし網、胸上、

たまの4統。たこつぼなわ、胸上3統。いいだこつぼなわ、胸上1統。まきえ釣り、たまの7統。まだこ釣り、たまの5統でございます。

続きまして、4ページをお願いします。中部地区、倉敷市児島地区関係組合でございます。小型機船底びき網、児島他5組合で135統、児島31統。ごち網、児島他2組合で、9統、児島1統。いかなご込(こまし)網、第一田之浦吹上他4組合で6統。餌料いわし込網、第一田之浦吹上他4組合で6統。いか込網、児島他4組合で9統。まながつお込網、児島他4組合で9統。大型込網、児島、下西で2統でございます。

続きまして5ページをお願いします。さわら流しさし網、児島他5組合で23統。まながつお流しさし網、児島他4組合で11統。かに建網、第一下津井1統。ままかり巻きさし刺網、第一下津井3統。たこつぼなわ、第一田之浦吹上他3組合で22統。第一田之浦吹上、下津井で3統。いいだこつぼなわ、第一田之浦吹上他2組合で10統。第一下津井1統、第一下津井1統、下西1統、第一下津井2統でございます。

続きまして、6ページをお願いします。あなご延(のべ)なわ、児島他2組合で9統。児島他5組合で20統。たいらぎ潜水器23統。みるくい・なみがい潜水器備讃瀬戸たいらぎ・みるくい潜水器漁業同業組合で決定した統数。点火いさり、第一田之浦吹上他2組合で7統、児島1統でございます。

たいらぎとみるくい・なみがいにつきましては、資料の11ページと12ページに令和4年度の実績を付けております。11ページをお願いします。たいらぎ潜水器の実績でございます。岡山海区から香川海区への入漁統数が4統、次に、12ページの表にみるくい・なみがい潜水器の岡山海区から香川海区への入漁統数を記載しておりますが、同じく4統となっております。

資料の7ページをお願いします。かにすくい網、児島他4組合で40統。まきえ釣り、第一田之浦吹上、本田之浦吹上で8統。まだこ釣り、児島、他5組合で220統。児島他4組合で34統。第一田之浦吹上他4組合で16統。児島他5組合で69統でございます。

続きまして、8ページをお願いします。西部地区、倉敷市玉島以西の関係組合でございます。小型機船底びき網、黒崎連島他3組合で217統。さわら流しさし網、黒崎連島他2組合で18統。かに建網、黒崎連島、笠岡市で6統。こち・げた建網、寄島町、笠岡市で6統。まきえ釣り、笠岡市6統。まながつお流しさし網、笠岡市他2組合で5統。黒崎連島1統でございます。以上が岡山海区から香川海区への入漁希望でございます。入漁希望数、組合内訳、漁業時期、操業区域、いずれも今年度と同様となっております。

続きまして、13ページをお願いします。13ページから15ページまでが小豆島北部海面における小型機船底びき網漁業の入漁協定書の案でございます。

この協定は2年毎に更新しており、今年が更新の年にあたります。例年、連合海区委

員会に先立ちまして、関係組合の代表者が集まって協定の更新について協議をしておりますが、今年は、書面にて関係者の意見を事前にお伺いしております。

内容については従来と変更なく、有効期限は、令和5年4月1日から2年間としており、香川県側、岡山県側の双方で、従来どおりの内容で更新することについて異存等はありませんでした。

本日、ご承認いただけましたら、本日付で協定を締結させていただきます。

岡山海区からの説明は以上でございます。御審議のほど、よろしく願いいたします。

### **井本議長（岡山海区）**

続きまして香川海区から説明をお願いします。

### **湯谷主任（香川海区）**

香川海区事務局の湯谷と申します。よろしくお願いします。座って説明させていただきます。お手元の資料9ページ目をお願いします。令和5年度入漁協定表案のうち、香川海区から岡山海区への入漁内訳でございます。表の左の方から、地区名、漁業種類、入漁希望統数、組合別内訳、操業期間、操業区域、令和4年度許可の実績、備考となっております。上から順に地区別の漁業種類毎の希望統数を中心に読み上げさせていただきます。

まず、東部地区でございますが、小型機船底びき網が土庄中央漁協他で合計141統でございます。さわら流網が土庄中央4統、香西3統、まながつお流網が香西3統でございます。中部地区に移ります。はえなわが与島7統と70統でございます。それから、小型機船底びき網が与島及び本島で58統。与島18統、高松市瀬戸内漁協で112統、坂出市他で合計164等でございます。

続きまして、10ページ目をお願いいたします。中部地区の続きでございます。たいらぎ潜水器35統、みるくい・なみがい潜水器ですが、こちらはたいらぎ・みるくい潜水器漁業同業組合で決定した統数となっております。この2つの潜水器漁業につきましては、地元関係漁協間で調整が成立したものとなっております。

資料の11ページ、12ページを御覧ください。こちらに令和4年度の実績を付けてございます。まず、たいらぎ潜水器につきましては、11ページ目上段で実績が4統。それから12ページ目のみるくい・なみがい潜水器につきましては、6統となっております。

それでは資料の10ページの方に戻っていただきたいと思っております。続きましてまきえ釣りでございます。与島が5統、7統、1統となっております。さわら流網は、与島、宇多津、丸亀市、本島、多度津町、多度津町高見で合計19統。多度津町高見で4統となっております。続きましてまながつお流網が、坂出市、与島、宇多津、丸亀市、多度津町高見で46統でございます。西部地区に移りまして、さわら流網が三豊市2統と観音寺6統。点火いさがり本島4統。小型機船底びき網が三豊市、詫間、観音寺、伊吹で合



計78統でございます。

令和5年度の入漁希望数、組合内訳、操業期間、操業区域いずれも今年度と同様となっております。以上が香川海区から岡山海区への入漁希望でございます。御審議のほど、よろしくお願いいたします。

**井本議長（岡山海区）**

ただ今、両海区の事務局から令和5年度の入漁希望について説明がございましたが、御意見や御質問がありましたらお願いいたします。

**志摩委員（香川海区）**

小型底びき網の入漁で同時操業の統数の管理は、どうなっているのか。

**濱崎総括副参事（岡山県水産課）**

御質問の入漁の件ですが、資料の9ページ一番下のところではないかと思えます。小型機船底びき網の統数が164統でございますが備考の欄に同時操業は15統以内にするということで、入漁の対象としては坂出市漁協他164統が対象になります。

**志摩委員（香川海区）**

それは分かっている。その15統を誰が管理するのか。

**濱崎総括副参事（岡山県水産課）**

こちらは、自主的に15統以内ということでお話をさせて頂いています。今後15統を超えるような操業があれば、例えば標旗を掲揚する等で管理をすることになると思えます。

**志摩委員（香川海区）**

いつからその場所には入れるのか。

**濱崎総括副参事（岡山県水産課）**

この協定が締結されて、4月1日以降入れるようになります。

**志摩委員（香川海区）**

小型機船底びき網の統数が164統あって、そのうち県境付近で操業できるのが15統に制限されるので、その場所に行って15統以上いたら操業できない。岡山が管理するのか、香川側が管理するのか、双方が管理するのか、揉める元になる。

**濱崎総括副参事（岡山県水産課）**

御意見を賜って、香川県の事務局と協議をして、どのような形がいいのか決めていきたいと思えます。

**志摩委員（香川海区）**

お願いします。

**井本議長（岡山海区）**

他に御意見がないようですので、まとめに入らせていただきます。「令和5年度における各種漁業の入会調整について」は原案どおり承認することよろしいか。

## **委員一同**

異議なし。

## **井本議長（岡山海区）**

ありがとうございました。異議なしと認め、そのように決定したいと思います。

次に「その他」でございますが、何かありませんか。

## **三宅委員（岡山海区）**

岡山県西部地区を代表して流網の操業について、地元の操業に配慮していただき、ありがとうございました。お礼を言いたいと思います。来期のサワラ、マナガツオ操業に関しても引き続き、お互いに円満操業となるよう、御尽力して頂きたいと思います。よろしくをお願いします。

## **小見山委員（香川海区）**

その件については、昨年3月末に、岡山側の方から連絡を頂き、香川側の漁業者にも伝えております。香川県側としても、来年も円満な操業をしていきたいと思いますので、よろしくをお願いします。

## **森委員（香川海区）**

月に1回プラスチックごみの回収を、ボランティアと一緒にしています。私の組合は小豆島の東端にあり、カキ養殖のホタテ貝の間にあるマメクダ（プラスチックパイプ）が非常に多くあります。岡山側にはカキ養殖業者が多いので、回収するように指導していただけないでしょうか。

## **石飛課長（岡山県水産課）**

海ごみの問題につきましては、岡山県でも様々な取組を行っています。海ごみの多くは河川を通じて海に流出していることから、発生源対策を行っています。また、漁業者が原因の海ごみもあることは承知しており、先ほどのマメクダも再利用できるものは再利用していますが、不可抗力によって流出してしまうこともあると認識しております。引き続き、漁業者と連携して、ごみを少しでも減らす取組を行って参りたいと考えています。

## **井本議長（岡山海区）**

他にないようですので、これで第62回岡山・香川連合海区漁業調整委員会を閉会させていただきます。御協力ありがとうございました。

（終了時刻：午後2時37分）

上記のとおり議事の顛末を記し、  
事実と相違ないことを証する。

令和5年2月22日（水）

議長

井 本 瀧 雄

議事録署名委員

豊 田 安 彦

議事録署名委員

三 木 正 幸